

MARUFUJI ランドクロスシリーズ

Hyper(ハイパー) 栈橋 - NETIS 登録完了

丸藤シートパイル株式会社（本社：東京都中央区、社長：志村孝一）の仮設橋梁 **MARUFUJI** ランドクロスシリーズの「Hyper(ハイパー) 栈橋」が国土交通省の新技术情報提供システム（NETIS）に登録されました。

NETIS 登録番号 KT-170092-A

Hyper(ハイパー) 栈橋は、高強度 H 形鋼（SM490）をユニット化し多種多様な施工条件に対応できる構造を持つ仮設橋梁です。従来の栈橋計画に用いられていた大型 H 形鋼の桁材はリース対応が出来ませんでした。が、リース対応可能な桁材で設計しており、経済性にも優れた商品です。当社は以前より仮設橋梁として「ランドクロス」を展開し、「自動車専用仮設橋梁」、「大型揚重機対応型仮設橋梁」を提供してまいりましたが、今回 NETIS 登録された「Hyper(ハイパー) 栈橋」を加えることで、あらゆるニーズに対応できる商品ラインナップとなりました。大きなメリットとして、従来の H 形鋼による栈橋計画と比較して、設置と撤去に係る施工日数と価格面で約 20%の削減を実現、栈橋桁や中間対傾構などの接合箇所に加え、独自に開発した専用手摺の接合部も全てボルト接合として製品化することで施工日数を短縮、材料選定から塗装まで各開発段階を見直し最適化することで、価格面でも競争力を持った商品を提供することが出来ました。

製品特長を活かし、建設現場の需要に幅広く対応し、営業展開を図ってまいります。

【採用実績写真】



架設時写真

特 長：

- ・ 工用栈橋の大型 H 形鋼（H700×300～H900×300）主桁材に代わりリース対応可能
- ・ 高強度（SM490）H 形鋼をユニット化し剛性を高め、従来の工用栈橋主桁材を用いた場合に比べて栈橋支間長を長く（6m～13mまで可能）できることで、支持杭本数を大幅削減
- ・ 主桁間隔を 3.0m（従来の工用栈橋は 2.0m）として、幅員方向の支持杭本数を削減
- ・ 大型揚重機（支持杭打設時：120 t クローラクレーン、吊荷重 250 k N）を載荷させた支持杭打設作業は橋長 13mまで可能
- ・ Hyper(ハイパー) 栈橋専用の簡易手摺を使用することで、手摺の架設・解体が容易
- ・ 全ての接合部が、ボルト接合による組合せ構造として、架設・解体作業が容易
- ・ 架設・解体の施工日数削減と経済性の向上（施工日数および経済性について、在来工法比で 20%程度の削減効果あり）

＜この件に関する問合せ先＞

丸藤シートパイル株式会社 技術統括部技術開発部 担当：杉森

TEL 03-3639-7672 / FAX 03-3639-7712 E-mail : s.sugimori@mrfj.co.jp